

令和3年度第3回大府市交通安全対策会議 議事録

日 時：令和4年1月17日（月）
午後1時27分～1時55分
場 所：大府市役所 全員協議会室

【 出席者 】（ ）内は代理者

会 長：岡村秀人：大府市長

委 員：片山貴視（岡田）：愛知県知多建設事務所長、磯山亙：愛知県道路コン
セッション株式会社、久保田英男：東海警察署交通課長、竹内勝哉：
東海大府交通安全協会大府分会長、久野晃：大府市老人クラブ連合会
会長、深谷さと子：大府市身体障がい者福祉協会代表、門野京子：大府
市小中学校PTA連絡協議会代表

事務局：信田光隆：市民協働部長、近藤真一：危機管理課長、近藤宏幸：危機
管理課生活安全係長、吉村隆汰：危機管理課生活安全係主事、岡田秀
之：危機管理課生活安全係地域安全専門員

欠席者：真弓英大：国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所名古屋国道維
持第三出張所長、望月みね子：大府市地域婦人団体連絡協議会代表、
山内裕美：大府市審議会等公募委員

議事

- 司会 近藤危機管理課長
- 議長 岡村大府市長（会長）

1 会長あいさつ

【 会長 】

日頃は、本市の交通安全活動に御理解と御協力いただき厚く御礼申し上げます。
本市の交通事故情勢については、令和3年も交通死亡事故が無く、令和元年
から3年続けて交通事故死ゼロを達成した。これは、警察や地域の皆さまの日
頃の交通安全活動の賜物だと思っている。今後も、交通事故死ゼロの記録を伸
ばしていきたいので、引き続き協力をお願いする。

本日は、第11次大府市交通安全計画の最終審議となるのでよろしく願い
する。

2 協議事項

第 11 次大府市交通安全計画（案）について
事務局からの説明後、質疑応答

【 委員 】

令和 4 年になり愛知県内の交通事故死が 5 人となっている。そのうち 4 人が高齢者で歩行中に交通事故に遭っている。高齢の歩行者の安全対策について、計画に盛り込んでいただきたい。

通学路での見守り活動時に、道が狭い生活道路でも通学路の指定があり危険と感じた。狭い道路へのガードレール等の設置は難しいと思うが、近隣の刈谷市や東浦町でも登下校時に児童を巻き込んだ事故が発生しており、子どもたちが安全に通学できるような計画としていただきたい。

【 事務局 】

高齢者の横断歩行者対策や通学路の安全対策については、本計画に盛り込んでいるので、年度毎に策定する交通安全実施計画の中で検討していく。

3 報告事項

1 大府市の交通事故状況について
東海警察署 交通課長からの報告

【 委員 】

大府市の交通事故情勢については、先ほど会長からも話があったように、死亡事故が 3 年以上発生していない。暫定値ではあるが、令和 2 年と令和 3 年を比較すると、人身事故件数は減少しており、高齢者が第一原因（追突する側）となる事故も 3 ポイント減少している。しかし、幹線道路ではなく生活道路においての出合い頭の事故件数については、非常に多くなっている。

東海警察署に配属になってから 2 年間の人身事故件数について、令和 2 年に 107 件、令和 3 年に 156 件と減少してきており、2 年間で 263 件減少している。これは、地域の方の交通安全意識の高さと行政の交通安全活動への関心の高さが影響していると感じている。

東海警察署に提出された免許自主返納の届け出の件数は、令和 2 年と令和 3 年において届け出数は共に 800 件程度であった。また、返納する人の平均年齢は、令和 2 年は、男性が 80 歳、女性が 74 歳であったが、令和 3 年は、男性が 80 歳で変更がないが、女性が少し上がってきている。

令和 4 年の愛知県内の交通事故発生状況は、1 月 16 日現在、死者 5 人で前年対比 1 人となっており、そのうち 4 人は高齢の歩行者で、横断歩道以外のところを渡っている時に、車と衝突した事故であった。

計画に関連する部分では、大府市、愛知県、国土交通省等と協力し、ゾーン

30等の設定を行っている。今後通学路においては、「ゾーン30プラスワン」で取り組んで行きたいと考えている。プラスワンとは、ハード面で車両の通過速度を落とさせる対策等を考えている。この対策は、生活する人には安全というメリットがある反面、デメリットも生じるため、何を一番として対策を行っていくか検討する必要がある。大府市、愛知県、国土交通省等の関係機関と連携して検討していくため、この場で情報提供させていただいた。

今後も、交通事故死ゼロが継続できるよう協力をお願いする。

2 「交通事故死ゼロ」継続期間3年経過について

事務局からの説明後、質疑応答。

【 委員 】

老人クラブでも、市役所や愛三文化会館等でイベントを行う時があるが、高齢化が進み、移動手段がない人が多い。先日、タクシーを数台利用しようと思い、タクシー会社に何社か連絡したが、ほとんど出払っており希望する数の予約が取れなく、乗り合わせでイベント会場まで行った。その際に、体調が悪くなってしまう人がいたことから、乗り合わせは難しいと感じた。大府市でも関係機関と協力して、デマンド型バスの導入を検討して欲しい。

【 事務局 】

免許返納するばかりではなく、運転寿命を延ばす取組等も実施しており、公共交通の問題と併せて包括的に検討していく。

【 委員 】

情報メディアで、住民同士で送迎するアプリがあり、30・40代の主婦等が空いた時間に送迎するシステムを紹介していた。自動車保険等の問題や、誰でも良いというわけではないが、優良ドライバー等に限定して行うなど、導入の検討をしてみてもどうか。

【 委員 】

私も以前から知っていたが、事故が起きてしまった場合の責任や賠償関係等の問題があると思っている。

【 事務局 】

提案いただいた意見について調査、研究を進めていく。

(閉会)